

「京都・地域企業宣言」策定！！

9月4日(火)に開催を予定していた今年度2回目の未来力会議は、台風の影響により、9月10日(月)に順延！急な日程変更にもかかわらず、多様な業種の現役経営者の皆様をはじめ、金融機関や支援機関の方など約100名の皆様に参加いただき、京都中央信用金庫本店にて開催！これまで意見交換を続けてきた「京都・地域企業宣言」が正式に策定されたほか、募集していたアイデアの具体化に向け、参加者全員で意見交換を行いましたっ！

～第1部 「京都・地域企業宣言」～

これまでの経過を振り返ったのち、参加者を代表して芳村世話人・浅野世話人の2人から『京都の企業の活動指針となる宣言にしたい』『これはゴールではなくスタート』と、力強い決意とともに発表！参加者皆様のご賛同のもと、未来力会議として正式に策定されました！！

京都・地域企業宣言

企業には理念が必要である。悠久の歴史の中で、多くの企業が生まれ、発展してきた京都では、理念が社是、社訓として重んじられ、私たちの礎となっている。

私たちは、規模を基準とする中小企業ではなく、人と自然と地域を大切に、地域に根ざし、地域と繋がり、地域と共に継承・発展する「地域企業」である。その自覚と誇りを胸に、京都から日本、世界、そして未来を見据え活動していくことをここに宣言する。

国内外から人や物が集い、伝統と革新が融合しながら新たな文化を創造し、千年を超えて都市の機能が継続してきた京都。私たちの先人は、経済的価値と共に文化的価値を大切にし、衣・食・住をはじめとする生活文化、地域が受け継いできた祭祀などに彩られる市民の暮らしを支えてきた。そして、伝統産業から先端産業、農林業、観光や情報をはじめとするサービス業などあらゆる産業やその担い手を育み、社寺や学術・研究機関との協働によって数々のイノベーションを生み出してきた。

今、人口減少社会の到来、地域コミュニティの弱体化、競争環境の激化といった、数々の困難や時代の転換点に直面している。

今こそ次の千年に向けた出発点であり、共に社業の発展を通じて地域に貢献し、しなやかな強さで京都の未来を切り拓く力、すなわち「未来力」を発揮するときである。

先人の理念である“先義後利”や“不易流行”をはじめ、京都に育まれてきた精神文化を大切に、あらゆる連携によって地域を支え、京都を拠点に日本の活力源となり、共生社会の担い手として、世界の人々の笑顔あふれる未来を創造していくことを誓う。

わたしたち地域企業は、

- 一、 自助努力や各企業の連携・融合により社業の持続的発展を追求する。
- 一、 生活文化の継承、安心安全、地域コミュニティの活性化に貢献する。
- 一、 働きがいや社会に貢献する喜びを大切にし、若者をはじめ多様な担い手の活躍を支援する。
- 一、 受け継いできた文化や知恵、技術を学び、新たな価値の創造に挑戦する。
- 一、 森や水の恵みを活かし、暮らしを支える豊かな自然環境の保全に寄与する。

平成30年9月10日

京都市中小企業未来力会議

その後、参加者それぞれが地域企業として、「実践していること」「実践できること」「実践したいこと」を宣言し発表！今後、「京都・地域企業宣言」の周知方法等について、会議を通じて意見交換していくことになりました！

<p>京都・地域企業宣言</p> <p>わたしたちは</p> <p>これまでの当たり前を支え これからの当たり前を創る</p> <p>と宣言します。</p>	<p>京都・地域企業宣言</p> <p>わたしたちは</p> <p>文化の維持と 発展に貢献する</p> <p>と宣言します。</p>	<p>京都・地域企業宣言</p> <p>わたしたちは</p> <p>地域と共に 世界一の企業になる</p> <p>と宣言します。</p>	
<p>京都・地域企業宣言</p> <p>わたしたちは</p> <p>文化価値と発見、発信し 文化を中心に 人・地域のつながり生み出すこと</p> <p>と宣言します。</p>	<p>京都・地域企業宣言</p> <p>わたしたちは</p> <p>便利ではないことに 価値を見出す</p> <p>と宣言します。</p>	<p>京都・地域企業宣言</p> <p>わたしたちは</p> <p>人と自然環境を 資本とする事業者と暮らす</p> <p>と宣言します。</p>	<p>京都・地域企業宣言</p> <p>わたしたちは</p> <p>地域を守る支える 一員と共に成長していく</p> <p>と宣言します。</p>

～顧問等からのメッセージ～

- この会議から、京都を代表する企業、日本をリードする企業を生み出していきたい。
(渡邊 隆夫 京都府中小企業団体中央会会長)
- すばらしい理念の宣言が策定された。今後は、この宣言を実践していくことが大事だ。
(阪口 雄次 公益財団法人京都中小企業振興センター理事長)
- 「規模ではない価値基準を持つ。」これは京都にしかできない。共に新たな価値を創造していきたい。
(岡村 充泰 株式会社ウエダ本社代表取締役社長)
- 宣言を効果的に広めていくための意見交換を、皆様の知恵を結集し引き続き継続していきたい。
(吉田 創一 株式会社フラットエージェンシー代表取締役)
- 「地域企業」と呼ばれることは大歓迎。各業界が抱える課題は異なるが、周りを巻き込みながら広めていきたい。
(吉川 忠男 サンケイデザイン株式会社代表取締役)

～ラジオPR（市長からのメッセージ）～

翌々日、芳村世話人と門川市長がKBS 京都ラジオに出演し、「京都・地域企業宣言」を、早速PRしていただきました！

【市長コメント（抜粋）】

- いざというときに生活を支える、安心安全を支えるのは地元の企業。
- 会社の経営、暮らし方含めて地域とつながろう、地域に貢献していこう、地域で担い手を育てよう。これが持続可能な日本社会をつくる。
- 行政として徹底して応援。みんなで地域とつながり、地域を盛り上げていく。そのモデルをつくるのが日本全体の元気になる。



～第2部 ビジネスアイデアの発表・意見交換～

当日ご出席いただいた15名のアイデア発案者から「実現したい思い」などを発表！その後、関心のあるテーブルに分かれ意見交換し、第3回会議に向けて、グループの形成を目指していくことになりました！



ビジネスアイデア名、発案者名（敬称略）、アイデア概要

アイデア①

**【大原野神社ライトアッププロジェクト】
ハチ製作所 西村 かわり**



（概要）大原野神社にて、紅葉の時期に合わせてライトアップ事業の実施。「大原野神社ライトアップ「光と水」実行委員会」を立ち上げ、紅葉のライトアップをメインに、伝統産業と連携し光と水のイベントを実施することで、神社の魅力を、地域住民をはじめとした多くの方に知ってもらいたい。

アイデア②

**【通販で京都ならではの逸品をインバウンドの方々へ手渡し】
株式会社ソフトウェアクリニック 竹野 政吉**



（概要）外国人観光客をターゲットに「京都ならではの逸品と価値」を提供する専用サイトの作製。訪日前に同サイトを活用し希望の商品を注文すると、京都を訪れた時に指定した受取場所で「京都の逸品」をワンストップで受け取る仕組みを構築することで、「京都の逸品」を世界に広めたい。

アイデア③

**【国際交流シェアハウス SPACE LIFE HOUSE】
株式会社SPACE 北野 勇樹**



（概要）弊社が運営するシェアハウスにおいて、外国人、日本人と分け隔てなく生活できる環境を提供。一つ屋根の下で、言語的、文化的に様々なルーツを持つ人々が交流することで、互いの国・文化への理解を深める場とした。

アイデア④

**【ゲストハウス×シェアハウス×グループホーム事業】
有限会社山田木工所 山田 正志**



（概要）働くことが困難な（障がい者、高齢者、シングルマザー、児童養護施設出身者、難病者、身寄りのない人などの）社会的弱者が助け合うシェアハウス・グループホームの設立。ゲストハウスを隣接しシェアハウス・グループホームの住人が働く場所を作ることで、自立を応援する仕組みをつくとともに、外国人観光客に日本・京都を身近に感じてもらいたい。

アイデア⑤

**【☆イクイメント女性ばかりいじら 女性の自立をみんなで応援する持続的な場作り事業！】
はあとグループ 小原 麻央**



（概要）シングルマザーをはじめ、熱意をもって働きたい女性に特化した、気軽に相談できるカフェのような場の提供。民間主導で行政のサポートを得つつ実施することで、持続的かつ自由度のある場を提供し、女性の活躍・自立を応援していきたい。

アイデア⑥

**【アートとビジネスをつなぐ文化芸術の教養講座の開催】
一般社団法人アーツシード京都 あごう さとし**



（概要）京都の文化芸術に関する教養講座の開催。知識や体験としてアートに触れる機会を提供し、講座終了後、その内容をまとめ書籍として販売することで、アートとビジネスをつないでいきたい。

アイデア⑦

**【こよみと (koyomito)】
RAD 川勝 真一**



（概要）各地から選りすぐった、もしくはオリジナルで制作した季節のアイテム（門松、風鈴など）が毎月届くサービスの提供。日本各地の伝統工芸や京都の作家と連携することで、「季節感をつくる」をコンセプトに現代的な暮らしを再考するきっかけとするとともに、現代ならではのアイテム開発にもつなげていきたい。

アイデア⑧

**【クラフトビール醸造家をサポートする運営組織をつくりたい】
株式会社翠舎 田中 郁后**



（概要）クラフトビール醸造所（ブリュワリー）や醸造家（ブリュワナー）を支える仕組み作り。各醸造所が参画する共同体組織を立ち上げることで、各醸造所の課題解決とともに京都でのクラフトビール文化の機運を高め、クラフトビールを京都の新たな文化として定着させていきたい。

アイデア⑨

**【京都オーガニックアクション】
NPO法人みんなの地球のくらしかた 廣海 緑湖**



（概要）有機農法野菜の生産拡大に向けた新たな販売や流通の構築。生産者が、相応の対価を得つつ、安心安全な野菜を消費者に提供することで、有機農法野菜の価値を広めていきたい。

アイデア⑩

**【京都を盛り上げろ！「ハッカソン in Kyoto」】
株式会社 irodas 橋本 徹大**



（概要）「京都の伝統工芸品×ITエンジニア（学生）」でのハッカソンの開催。京都の伝統産業の従事する中小企業と弊社プログラミングスクール生でタイアップすることで、若者視点の『IT×伝統工芸』の製品を開発したい。
※ハッカソン＝定期集中的にプログラムの開発やサービスの考案などの共同作業を行い、その技能やアイデアを競う。

アイデア⑪

**【小学生のなりたい職業に「女社長」をランクインさせる】
有限会社鈴木モーターズ 鈴木 千鶴**



（概要）社長塾の開講や小学生の起業発表会イベントの開催。小学校に出張し、中小企業の実態を伝え、経営者が、どんな夢を持って、日々どう取り組んでいるかを伝えることで、自分がオーナーとして、日本の経済を支えてみよう。世界に出よう。という夢を与え、女性をはじめとした起業家を増やしたい。

アイデア⑫

**【京の未来を作る若者向け教育コミュニティ「1←0 Kyoto」】
株式会社美京都 中馬 一登**



（概要）市と企業が本気で若者の人材育成を支援する教育コミュニティの形成。「自分を知る」「社会を知る」「仕事を知る」という3点から「学び」を提供することで、若者に、オンリーワン・ナンバーワンの人材を目指してほしい。

当日欠席 アイデア⑬

【天才アートKYOTOのアーカイブで「アート&CSR」】
天才アートKYOTO 重光 豊

(概要) 障碍のある人の、個性豊かなアート作品群のアーカイブ保存及び活用。企業の製品デザインとしての提案やCSRとしての活用を提案することで、企業価値の向上に寄与するとともに、収益を障碍のある作家に還元していきたい。

当日欠席 アイデア⑭

【町をつなぎ、京北町の仕事を生み出す場所をつくりたい】
株式会社ヒューマンフォーラム 井垣 敦資

(概要) 弊社で検討中の新事業「古着のアップサイクル」事業との連携。京北に移住してきたデザイナー等をはじめとした市内企業と知恵を出し合うことで、京北地域で新たな仕事を生み出していきたい。
※アップサイクル…廃物をそのまま再利用するのではなく、商品としての価値を高めるような加工を行うこと。

当日欠席 アイデア⑮

【お地蔵さん・大日さんを大切に！/新設&リノベーションプロジェクト】
株式会社アラキ工務店 荒木 勇

(概要) 町内にあるお地蔵さんを中心とした、大工技術の継承と地域コミュニティの活性化。お地蔵さんの「祠」には大工技術が凝縮されており、お地蔵さんの祠を作ることで、大工技術(伝統木工法)の継承につなげるとともに、地域におけるお地蔵さんの大切さを再認識し地域コミュニティを盛り上げていきたい。

当日欠席 アイデア⑯

【京浴衣SHOPの京町家DE知育!&食育!】
株式会社月虹舎 野原 佳代

(概要) 京町家を活用し当社の事業である京友禅京浴衣の店舗兼文化サロンを開設。伝統文化が学べる子供向け・家族連れ向けのワークショップを定期的で開催することで、京都が育んできた伝統文化を子どもたちに伝え、子どもの知育や女性活躍の視点から、伝統産業、文化振興につなげたい。

当日欠席 アイデア⑰

【京都のみんなで楽しむ「お茶の日」】
京都ぎょくろのごえん茶 柴田 彩巴

(概要) 京都産茶葉をたのしむ、京都・お茶の日(又はお茶の週)を設定。京都市内の企業やお店、家庭でも茶葉から淹れる京のお茶をゆったり楽しむ「お茶の日」をつくることで、京都のお茶について知る機会をつくり、観光客の方だけではなく、京都の方にこそ、茶葉から淹れるお茶の美味しさを知ってほしい。

29 から継続 アイデア⑱

【四方良しを実現する「京都・おもてなし観光プラットフォーム」事業】
京なか株式会社 桂田 佳代子

(概要) 行政のオープンデータや、民間が提供している行事・イベントなどの情報を取得できる総合観光情報サイトを構築。その他観光情報を提供しているホームページやアプリケーション等へ展開できるようにし、位置情報や個人データと連携することで、タイムリーな観光情報を提供したい。

**29 から継続 アイデア⑲**

【「老舗京もの体験」事業】
株式会社コムニースタイル 田中 健一

(概要) 「つくる・つかう・つながる」をコンセプトにした伝統工芸の製作体験コンテンツを提供。従来のような、伝統工芸の単なる制作体験(「つくる」)だけでなく、出来上がった物を「つかう」場面を用意し、その際に、地元の方々と「つながる」機会を用意することで、安価ではなく、富裕層向けの価格設定をした体験コンテンツを提供したい。

**29 から継続 アイデア⑳**

【地域共生事業「京都人も知らない京都」情報配信サービス事業】
サンケイデザイン株式会社 吉川 忠男

(概要) 国内外から京都を訪れる観光客にオンタイムで、生の、地域に根差した情報を提供。効果的な広報や持続可能な仕組みづくりを検討することで、新たな観光資源の発掘をしていきたい。



各アイデアを思い付くに至った背景・課題意識はこちらをご覧ください。

(<http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000209507.html>)

<今後の予定>

次回会議までにビジネスアイデアの具体化を支援する「進ちよくサポート相談会」を開催。次回会議ではアイデアの進ちよく状況を発表いただき、アイデア発案者が中心となるグループの形成を進め、アイデアの熟度を高めてまいります。**次回会議…平成30年12月17日(月)**

<お知らせ>

・会議当日の様様や最新状況、アイデアの進ちよく状況などをfacebookにて公開しています！是非ご覧ください！！(<https://ja-jp.facebook.com/kyotoshichushokigyo/>)

<アンケートにお寄せいただいたご意見・ご感想等>**<京都・地域企業宣言について>**

- ・私ができることは少ないですが、とてもすてきな宣言だったので、友人などに広めていきたいと思えます。
- ・個人的に実行していきたいと思えます。
- ・理念浸透キャンペーンが必要だと思った。成功事例の蓄積。

<ビジネスアイデア・会議全体について>

- ・ワークショップで皆さんが活発に意見を出されていたのが印象的でした。
- ・多くの意見を頂き、今後の進め方に活用させて頂く。
- ・もっと踏み込んで話したいと思った。この後も継続的に関係を作れるのが重要です。